



現状を示すグラフの分析に関する出題。

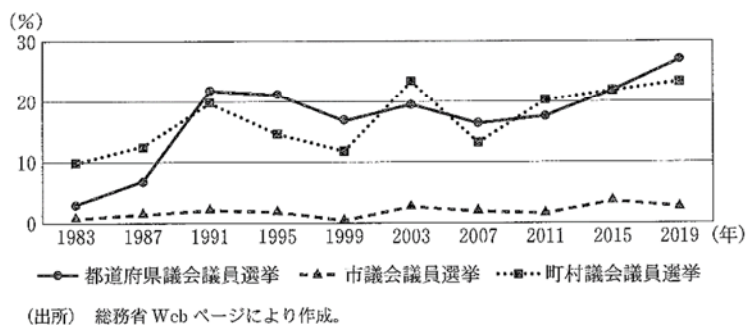
投票率が低水準である背景やその改善策について問うている。

共通テスト

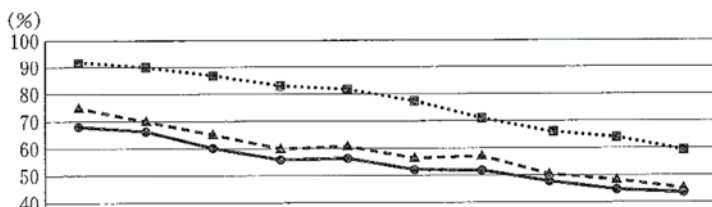
第4問 問3

問3 生徒Xと生徒Yは下線部③について、次の資料aと資料bを読みとった上で議論している。資料aと資料bのグラフの縦軸は、統一地方選挙における投票率か、統一地方選挙における改選定数に占める無投票当選者数の割合のどちらかを示している。後の会話文中の空欄ア～エに当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 27

資料a



資料b



X: 議員のなり手が不足しているといわれている町村もあることが資料アからうかがえるね。町村議会では、立候補する人が少ない背景には議員報酬が低いという指摘があるよ。議員定数を削減する町村議会も一部にあるんだね。

Y: 都道府県議会議員選挙では、それぞれの都道府県の区域を分割して複数の選挙区を設けるのに対し、市町村議会議員選挙では、その市町村の区域を一つの選挙区とするのが原則なんだね。図書館で調べた資料によると、都道府県議会議員選挙での無投票当選は、定数1や2の選挙区で多い傾向があるよ。資料アから、都道府県や町村の議会議員選挙では、市議会議員選挙と比べると無投票当選の割合が高いことがわかるけど、無投票当選が生じる理由は同じではないようだね。

X: なるほど。この問題をめぐっては、他にも議員のなり手を増やすための環境づくりなどの議論があるよ。無投票当選は、選挙する側からすると選挙権を行使する機会が失われることになるよ。議会に対する住民の関心が低下するおそれもあるんじゃないかな。

Y: 資料イにおいて1983年と2019年とを比べると、投票率の変化が読みとれるね。投票率の変化の背景として、ウが関係しているといわ

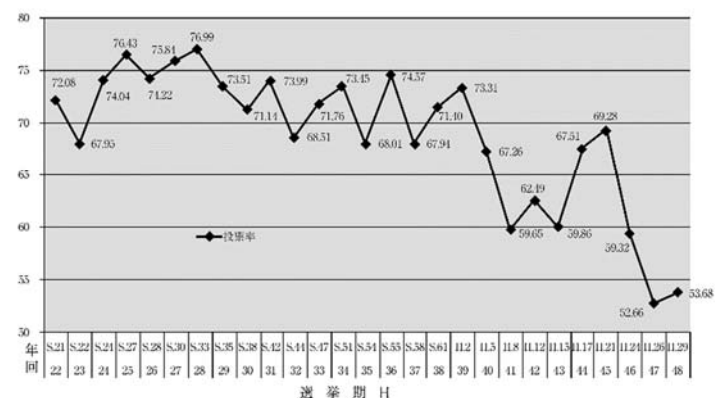
河合塾

冬期・直前講習

「共通テスト本番必勝テスト(政治・経済)」第2問 問4

問4 下線部④に関連して、下の会話は、次の図を見たXと父によるものである。この会話文を読んで、空欄ア・イに当てはまる記述の組合せとして最も適当なものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 11

図 衆議院議員総選挙(大選挙区・中選挙区・小選挙区)における投票率の推移



(注1) 昭和38年は、投票時間が2時間延長され、午後8時までであった。
(注2) 昭和55年及び昭和61年は衆参同日選挙であった。
(注3) 平成8年より、小選挙区比例代表並立制が導入された。
(注4) 平成12年より、投票時間が2時間延長になり、午後8時までとなった。
(注5) 平成17年より、期日前投票制度が導入された。
(注6) 平成29年より、選挙権年齢が18歳以上へ引き下げられた。
(出所) 総務省Webページにより作成。

X: お父さん、これ見てよ。これって、何を表しているんだろう。

父: この図は、衆議院議員総選挙の選挙区での投票について、有権者のうちどれくらいの割合の人が実際に投票したかを表したものだよ。大きな傾向としては、割合は低下しているね。そうした傾向は、何を表しているのかな。

X: アを表しているんじゃないかな。政治の内容もだんだん複雑になって、有権者にはわかりにくくなっているし。

父: では、投票率を上げるためには、どういうことが考えられるかな？

X: まず、政治に積極的に取り組む姿勢を育成することが必要な。新しく有権者になった18歳や19歳は、学校での教育などによって積極的に投票を行ってよね。あとは、イなどが考えられるのかな。

父: そうだね。

共通テストでは、図やグラフを読み取る力と文章の読解力の双方が試される。一方で、正解を導くためには基礎的な知識が必要である。出来事の背景や制度のねらいなどを確実に理解する学習とともに、実戦形式の問題演習も積み重ねていきたい。